

国際部会

国際部会長 土井昭政(国-10)

兵庫県国際交流協会でのスタディツアーについて、同協会のブログに次のように掲載されました。



7月5日(木)神戸市シルバーカレッジ内NPO法人グループ“わ”さんが見学に来られました。午後1時半からひょうご国際プラザの交流ギャラリーと国際情報センター(インターネット図書資料コーナー)をご案内した後、HAT神戸内の国際機関について、30分ほど説明しました。皆さん大変熱心に聞いていただき、留学生と交流したいという思いから国際交流会館などについて質問をされていました。

JICA兵庫国際センターからも活動について説明していただきました。発表の後の質疑応答で、ODA(政府開発援助)のあり方について質問があり、核開発を行うような国に援助するのはいいのか等の意見が印象的でした。最後は、人と防災未来センターを見学し、スタディツアーは終了しました。(国際交流協会・大谷)

HAT神戸スタディツアーに参加して

国11-国 加藤寿子

7月、梅雨の晴れ間の日、国際部会が企画した親睦と学習を兼ねたHAT神戸スタディツアーに参加した。見学は、こくさいこうりゅうせんたー、JICA、防災未来センターであった。私は近くに住みながら、HAT神戸の美術館以外の建物の中に入ったことが無く、関心は持っていても機会が無いままだったので、とても興味があった。

国際交流プラザで集合し、国際交流協会広報課の女性職員が案内して下さった。まず、HAT神戸とは、Happy Active Townの頭文字との説明。な～るほど。

国際交流プラザ情報室には外国の方が勉強し易い資料や図書が沢山置いてあり、私たちでも登録すると利用できるとの事だった。

JICAでは、まずはじめに、部屋でパワーポイントを使って、またクイズを交えてJICAの活動内容の説明があり、とても解りやすかった。



JICA学習室で



国際協力会館NICE展示室で

皆興味しんしんで質問も続出。その後、資料室でやはりクイズを解きながら見学。これは注意深く説明を読んだりするので、普通に見学するよりは勉強になったと思う。正解者には記念品まで頂いた。

人と防災未来センターでは、あの阪神淡路大震災の経験と教訓を後世に伝えるため、様々の資料が展示してあった。4階では震災当日の各地のあの瞬間を、大画面と大音響で再現。ものすごい迫力で怖かった。本当に、思わず目を伏せる。次のコーナーは当時の瓦礫だらけの町を再現、思い出しながら歩いた。その次の部屋では一人の女性を通じて、震災から復興するまで様子を追った映像が上映された。生々しい記憶がよみがえり、涙が出た。当時を思い出して涙ぐむ人も沢山居た。また別の部屋では、マグニチュードと震度の違い、マンションの免震構造とは、などなど・約3時間の見学だったが知らない事ばかりで私にはとても興味深く有意義なひと時だった。知らない人には是非見学をお勧めする。

ボランティア活動に伴うケガ等事故の連絡について

副理事長 上田 市夫

わは、会員の皆さんが部会・区会・本部等で行う行事のボランティア活動をされる中で、ケガ等の事故に遭遇された場合に備えてNPO活動総合保険に加入しております。万が一、ボランティア活動中に不慮のケガをされた場合には傷害保険の給付対象になります。また、ボランティア活動の中で他人の身体や財物等に損害を与えたことにより賠償責任を負うことになった場合には、賠償責任保険でカバーされます。わの活動に、マイカーを利用して自損事故が起きても現在の保険ではカバーされませんので注意してください。

保険金の給付対象になるのは、いづれの場合も「わの活動の中で生じた事故」が要件です。

したがって わ 以外の他団体が主催するボランティア活動等に個人的に参加して事故に遭遇した場合は、わの会員であっても、傷害・賠償責任ともに、わの保険対象にはなりません。事故に遭われた場合には、保険会社指定の「事故報告書」を提出していただくことになります。万一活動中にケガなどの事故に遭遇された場合には、早急にわ本部の保険担当にご連絡ください。保険金請求の手続きをご案内します。

詳しいことは、わ本部の保険担当:上田 (078-743-8101)あてお尋ねください。